



小海道札幌区苗穂只

不招園病院裏 中山氏了

八田三部様

片...

東京市麻布区上野山

五十七番



田

仁

子

川

和

子

四月
二十日



郵便はかき



五振区乃本振
八田三方棟

父丈太郎儀永々病氣、知養生不
相叶本日午前十時三十分死去仕
候間不取敢御通知申上候
葬式、義八明后十九日午后一
時途中葬列ヲ廢シ淨心寺へ小
石川白山前所一〇〇〇於テ相嘗
可申候

東京市本郷區湯島天神所一〇三

大正八年四月十七日

井

原

保

正

旅中より著書集も差ちりたりぬゆるが中よりやとお母様より
お知れぬ事

和子は此中より著書集は付さる中よりけしやがさるるに
時節之れよりあはすわく時かよるうりするまあ此方
然し一廿人若はたし聊て由を有りたりては
是れよりあはれぬ事おのれぬ人さるるに
たしと申すゆりたり失れがし中より強硬を
他は兼りてはさうく北極中肉もちか
言ふに正に力かないの無理ある
思ふにさう一人若は以上尊敬が
不情な事一月中自ら
是れを此知れぬ事

御父上様

申上

四月三十一

仁子

貴子七周を過ぎるの声のすえり 故におめでたき事存じ
 申す ちよと申す御母様より 御父上様よりおめでたき御儀
 申す 貴子の御事 御目立 有る事 御事 一言に申す
 梅も大元春の情を御し 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子
 杉樹のちよと申すおめでたき事 貴子 貴子 貴子 貴子
 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子
 総して 始り 晴水 湯の 湯の 湯の 湯の 湯の 湯の 湯の 湯の 湯の

是るは 念ふ おは ちよに ちよに ちよに ちよに ちよに ちよに ちよに ちよに ちよに
 ちよに ちよに

貴十君の御事は 他は 勝本のおめでたき事 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子
 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子
 用事 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子 貴子

お父様 御無事お着き遊ばしおしてお芽出たう存じます。その後は大
 層御無沙汰申上げましたが続いて御機嫌およろしいういりやませう
 御地はもうお暖くなりましてございませう。こちらと大へん暖うございませう
 そして昨日の晩は雨がふりましたが今日は大層よいお天気でございませう
 昨日の朝勝本えうをぢ様が今晚東京をたつかぬとおっしゃてお出でにま
 りました。おたしはらくぶりの合志まかおはえと・シちえと喜ちえの様にございませ
 先だてお見えにかりました。たしそり時には寝なうかおきましたお客間には足か
 らせませうとした。その時う有様は十分お察し程を願ひ申上げます。後で
 お母様とお姉様とはお小言をちやうたい致しおしたからう。

今日はこれで失礼申上げます。ま不體をお大切に遊ばしませ。

御父上様

御前に

和子

より

さよなら